



あたりまえ防災隊通信

東金特別支援学校
令和4年1月21日
第8号

今年もよろしくお願ひします！

2022年も「東金特別支援学校を日本一安全な学校に、東金市を日本一安全な町に」をモットーに、防災・減災について広めることができるように活動していきます。さて、前号でご紹介した「ぼうさい甲子園」が開催されるきっかけとなった阪神淡路大震災から27年が経ちました。被害者の多くの原因が家屋・家具の倒壊、火災が原因であったと言われています。そこで、今号ではご家庭でできる地震対策についてご紹介します。

<あたりまえ防災隊おすすめの地震対策「家具編」>

大地震が発生したときには「家具は必ず倒れるもの」と考えて、転倒防止対策を講じておく必要があります。



- 家具の固定・・・壁にタンスや本棚などを固定することで転倒を防ぐことができます。壁に直接固定できない場合、突っ張り棒等の対策グッズも市販されておりますので、是非確認してみてください。
- 家具の配置・・・寝室や子ども部屋には、大きい家具を置くのは避けましょう。置く場合は、背の低い家具を置くようにしましょう。また、倒れた際に、通路等をふさぐことのないように、置く位置や向きを工夫しましょう。

<あたりまえ防災隊おすすめの地震対策「火災編」>

東日本大震災における本震の揺れによる火災では、原因の特定されたもののうち過半数が電気に起因したものであったそうです。火の元の確認も忘れずに！



- 通電火災の予防・・・停電し、電気が復旧した後に起きる「通電火災」。電化製品も可能な物は固定できると良いです。また、避難時には、ブレーカーを落としてから避難するようにしましょう。
- コンセント火災・・・コンセントの電気の許容量を超えて電気器具を使用するとコンセントが過熱し、火災になることがあります。「たこ足配線」は、控えるようにしましょう。

家庭でできる災害への備えについて紹介しています。

地震はいつくるかわかりません。
いざという時に、落ち着いて行動できるように
備えておきましょう。

児童生徒(あたりまえ防災隊)からの呼びかけは、保護者への強いアピールとなります。



あたりまえ防災隊通信

東金特別支援学校
令和3年11月26日
第6号

「備えてますか？冬の防災グッズ」

11月に入り、気温の低い日が続いております。皆様いかがお過ごしでしょうか。

「災害はいつ起こるか分からない」と本通信でも呼びかけさせていただいてきました。今後寒さが一層厳しくなっていく中で、災害が発生した場合、寒さによる二次災害が起きないように、本号では、冬期の備蓄品についてご紹介させていただきます。

～備蓄品についてみんなで考え調べました～



季節に合わせて備えよう！

冬の防災グッズ

- 折りたたみ毛布
- 保温寝袋
- 新聞紙
- 保温クリーム
- 厚手の靴下 軍手
- 湯たんぽ
- 充電式カイロ
- フランクット
- マスク
- 簡易トイレ など

季節に応じた
防災グッズの
紹介をしてい
ます。

季節に合わせて備蓄品を備えましょう。
ご家族で相談してみてください！

児童生徒(あたりまえ防災隊)
からの呼びかけは、保護者へ
の強いアピールとなります。



あたりまえ防災隊通信

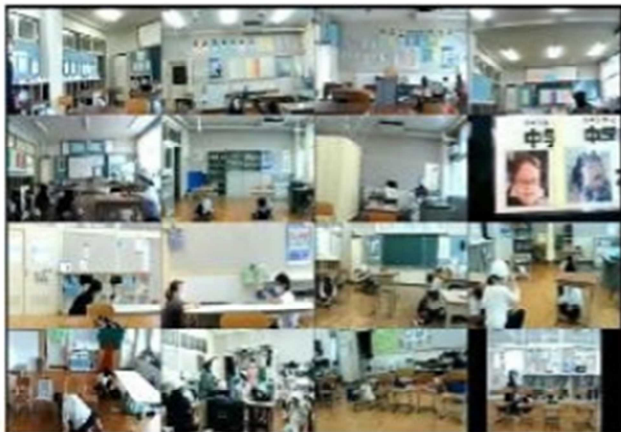
東金特別支援学校
令和3年9月24日
第4号

9月は学校安全強化月間です！

長いようであつという間に終わってしまった夏休み。皆さんは、安全に過ごすことができたでしょうか。本校では、9月1日に「東金市合同シェイクアウト訓練」に全校で参加しましたので、その様子をお伝えします。2学期も安全に過ごすことができるようあたりまえ防災隊が全校に呼びかけていきます。さて、近年全国で増えてきている豪雨災害や土砂災害。この夏も7月の伊豆山土砂災害や広島県での災害級の大雨など多くの被害が出ました。そこで今回は、大雨の原因の一つである「線状降水帯」や大雨の際に発表される「大雨特別警報」についてご紹介します。

東金市合同シェイクアウト訓練の様子

感染症対策のため、web会議システムを活用して各学級で訓練に参加しました。



画面越しの各学級の避難の様子



安全を全校に呼びかける防災隊長と話を聞く全校児童生徒

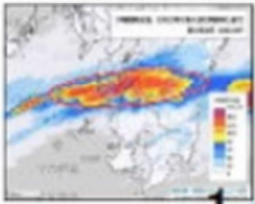


訓練の様子を紹介しています。

僕たちの町に、いつ大雨特別警報がでるかわからないので、ハザードマップで避難経路の確認をするようにして、ニュースや天気をこまめに確認しましょう。

線状降水帯とは

次々と発生する発達した雨雲（積乱雲）が列をなした、組織化した積乱雲群によって、数時間にわたって通過または停滞することで作り出される、線状に伸びる長さ50～300km程度、幅20～50km程度の強い降水をともなう雨域のこと。



大雨特別警報とは

「特別警報」とは、警報の発表基準をはるかに超える大雨や、大津波等が予され、重大な災害の起こるおそれが高く高まっている場合に発表し、最警戒を呼びかけるもの。

児童生徒(あたりまえ防災隊)からの呼びかけは、保護者への強いアピールとなります。

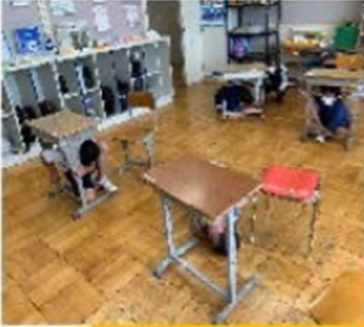


あたりまえ防災隊通信

東金特別支援学校
令和3年7月9日
第3号

全校での避難訓練実施！

6月23日（水）に、地震・火災を想定した避難訓練を行いました。全校児童生徒全員、友達や教師と一緒に指定された避難場所へ避難することができました。また、避難訓練後には、私たち「あたりまえ防災隊」が中心となって避難時の約束事「お・か・し・も・ち」を確認しました。



家庭でも知っておいてもらいたいことを紹介しています。

避難時の約束事

- ①・・・おさない
- ②・・・かけない
- ③・・・しゃべらない
- ④・・・もどらない
- ⑤・・・ちらばらない

避難の種類

- 一次避難** 災害等が発生した際に、1秒でも早く身を守る行動を取ること。
例：机の下に入る など
- 二次避難** その場付近の安全が確認できたら、避難場所・避難所へ避難すること。
- 自宅避難** 自宅の安全が確認されたら、自宅へ避難すること。

ヘルメットやハンカチタオルを備えておきましょう。
自分の身は自分で守りましょう。

学習内容を
紹介しています。



児童生徒（あたりまえ防災隊）からの呼びかけは、保護者への強いアピールとなります。



あたりまえ防災隊通信

東金特別支援学校
令和3年6月18日
第2号

梅雨の時期に入りました

千葉県も梅雨入りし、ジメジメとした日が続いています。また、ゲリラ豪雨や災害級の大雨、土砂災害がいつ起きてしまうかわかりません。災害が起こる前に、自宅付近の避難場所・避難所の確認や備蓄品等についてご家庭で話し合ってみるのは、いかがでしょうか。

避難場所と避難所の違い

- ・「避難場所」
災害などから身を守るため、**一時的**に逃げ込む先。
例) 河川敷や大きい公園など、広いスペースが指定される。
- ・「避難所」
災害のため自宅で過ごすことが困難になった時、**一定の期間**、**避難生活をする場所**。
例) 学校や公民館などが割り当てられる。



家庭でも知っておいてもらいたいことを紹介しています。

推奨されている備蓄品

- 非常食 3日分×人数分
- 飲料水
- モバイルバッテリー
- トイレットペーパー
- ティッシュ、トイレットペーパー
- カセットコンロ
- 服薬している薬、マスク
- ガムテープ、ひも など

いついかなる災害が起こるか、わからないので
備蓄品や避難場所を確認しましょう！

～備蓄品について調べている様子～



学習の様子を紹介しています。

児童生徒(あたりまえ防災隊)からの呼びかけは、保護者への強いアピールとなります。